

令和4年度 学校評価
自己評価及び学校関係者評価

学校名	坂戸市立大家小学校
実施日	令和5年1月

○「自己評価」及び「学校関係者評価委員会評価」の欄には、A～Dを記入してください。

評価 A:よくできている B:概ねできている C:あまりできていない D:できていない

○「自己評価についての評価の説明及び学校の考え」の欄には、理由及び自己評価の結果をどのように受け止めているかを記入ください。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
組織・運営	1	学校は、特色ある学校づくりを目指し、組織的・計画的に取り組んでいる。	B	○全職員が子供達のために何が出来るのか考え支え合って行く。何事も相談したり、頼ったりしやすい環境を整え、組織的に対応していく。	A	○地域との連携、協働して学校の運営が図られ学校教育方針に沿った特色ある学校づくりをしている。また、小規模校として、豊作応援団や公民館サークルのゲストティーチャー等、地域の人材を積極的に活用し、一人一人の子供の体験を重視した特色ある学校づくりを進めている。
	2	学校は、災害、事故やトラブルに対して、組織的に迅速に対応している。	B	○子供達の安全を第一優先とし、日々の危機管理を十分に行っている。 ○不審者対応、心肺蘇生法等の研修は、年間行事予定に位置づけ、組織的に対応していく。	B	○学校メールシステムにより、保護者等へ迅速に情報提供がされている。 ○登下校時の安全を守るため、研修訓練を重ね、事故防止につなげていく。
	3	学校は、働き方改革を意識して、職員の勤務体制の改善を図っている。(共通項目)	B	○子供達のために、教職員が心身ともに健康でいられるよう働き方改革を行っている。 ○今年度は、サッとデーや調整の宿題等実施し個々の時間を作りやすい環境を整えた。	B	○新型コロナウイルス感染症対策や様々な学校行事運営等で勤務時間内での対応は困難と思うが、よく時間の管理がされている。
教育課程・学習	4	教員は、学力向上に向け、児童生徒にわかりやすく、工夫した授業をしている。(市共通項目)	B	○学力調査の結果について共通理解しているが、日々の授業改善の徹底は図れていないので、具体的な取組を学校全体で決め継続して実践していく。	B	○教材、タブレットを上手に使い、楽しくわかりやすい授業に心がけている。また、黒板や大型モニター、タブレット等をバランスよく活用され飽きさせないよう工夫している。
	5	教員は、豊かな心を育む授業の充実を図っている。	B	○自己肯定感が低く、自分に自信がない児童が多い。間違っても大丈夫、他から中傷されない人間関係を築くために道徳の充実を図る。	B	○先生方の柔らかな口調、対応により児童も落ち着いて授業に臨んでおり効果大きい。 ○指導形態の工夫が図られ、個に応じた学習が進められている。
	6	児童生徒は、落ち着いた態度で生活し、授業に取り組んでいる。(市共通項目)	B	○校内でも校外でも進んでいさづをする児童が少ないので声を掛けていきたい。 ○宿題や忘れ物に関して、懇談会を通じて保護者の協力を得て、だいぶなくなってきた。	B	○先生の話をしっかり聞こうとする児童が多い。ノーチャイムで学校生活が送れていることが素晴らしい。 ○登下校中、積極的に挨拶をする児童が多い。
資質の向上	7	学校は、体罰や交通事故等の教職員事故や不祥事根絶のために意欲的に取り組んでいる。(市共通項目)	A	○倫理(事故・不祥事等)に関する情報を定期的に発信したり、研修を積み重ねたりすることにより、自分事として捉えることができる。	B	○会議資料の事前配布による会議内容の充実と効率化ができ、先生方のストレスの軽減が図られることにより、教職員の事故防止の土壌につながる。
	8	本校の教員は、児童生徒一人一人を認め大切に接する態度で接している。	B	○今後もチームで取り組むことにより、全職員で共通理解を図り、必要に応じて外部機関とも連携し、児童一人一人の支援にあたっていく。	A	○小規模校という現状がある中、先生方の努力が見受けられ、児童の資質向上につながっている。 ○担任の先生だけでなく、他の先生も児童のこともよく見ていて、信頼関係がある。
学習環境	9	学校は、特別支援教育体制の充実を図っている。	A	○特別支援教育の研修をしていきたい。 ○特別支援級と通常学級の連携を図り、個々に応じた支援をこれからも続けていく。	B	○学級の中に様々な児童がおり、掲示物などユニバーサルデザインを取り入れている工夫があり、落ち着いた学習環境ができている。
	10	学校は、安心安全で機能的な教育環境整備に努めている。	B	○清掃用具が足りないと思う。もっと新しいものを揃え、有効に活用したい。 ○掃除の時間から後始末までの見届けを全職員で行い、無言清掃を実践していく。	A	○トイレの修繕、水道の自動化等、衛生環境がよくなっている。また、一人一人の作品をいつも大切に掲示展示しており、豊かな心の育成にもつながっている。
家庭・地域との連携	11	学校は開かれた学校づくりを目指し、家庭・地域社会に積極的に情報提供を行っている。(市共通項目)	B	○ホームページで何を伝えたいのか、その項目・内容について検討が必要。 ○修学旅行や自然体験学習の行事において、組織的に対応することは、児童・保護者・職員の安心・安全につながる。	B	○ホームページで学校情報を定期的に発信できている。また、学校だよりは地域回覧を通して、学校の様子について情報提供している努力を感じる。
	12	学校は、積極的に地域の人材を教育活動に活用し、家庭・地域と連携し子どもの問題解決を図っている。	B	○コロナ禍においても、行事等共通理解を図り、できる限り計画的に行っている。 ○来年度から始まる「コミュニティスクール」の基盤を整え、今後も地域の人材を活用した教育活動を行っていく。	B	○地域人材を活用し、作物等の育成や書道の指導を受けられる等地域の財産を上手に活用している。また、体験的な学習を重視しており、地域住民と連携することで学校外での児童の様子を知ることができる。
小中一貫教育	13	学校は、小中一貫教育の視点にたった教育活動を推進している。(市共通項目)	B	○進学する中学校が2校あるため、小中の連携が取りにくい。若宮中、浅羽野中各々の学区でのすり合わせを行う時間があるとうい。 ○安心して進学できる環境を、小中及び幼保小の連携を図っていく。	B	○大家小は2中学校に分かれるので、小中連携して、不安なく進学できるようサポートしてほしい。